

# 私でも出来るとよ！

～認知症利用者のIADL回復を試みて～

熊本県 介護老人保健施設

ケアセンター赤とんぼ

通所リハビリテーション科

# はじめに

- 当施設通所リハビリテーション科では約1年前より認知症の方を中心としたグループケアに取り組んできました。
- ご家族より「家でもぼんやりしているので、施設でなるべく手伝いをさせてほしい。また、家で入浴が出来るようになってほしい」とのニーズがあがった。
- 今回はその利用者のIADL動作がどこまで回復可能か試みたのでここに報告する。
- 期間 平成17年10月～平成18年7月迄  
の約9ヶ月間

# 事例紹介



U・C氏 80歳 要介護2

疾患名 脳梗塞後遺症

左半身ごく軽度の麻痺あり

脳梗塞発症後より認知力低下

ADL 一部介助

IADL 全介助

長谷川式スケール 12点

# 当初のケアプラン

## 解決すべき課題

- ①脳梗塞後遺症があり、左片麻痺があるが、出来る家事は行っていきたい。
- ②安全に入浴を行い清潔を保ちたい。

## 援助目標

- ①現在行っている家事が安全に行えるようになる。
- ②入浴の洗身を見守りや、促しにて行なうことが出来る。

## 本人、家族の意向

出かけることもなく近隣との交わりも少ない。少しは人と話が出来ればと思う。また、自宅で入浴が出来るとなっていてほしい。

# ADLについて

起き上がり	座 位	起 立	移 乗	移 動
自身で可	自立	自身で出来るが、ふらつきあり、見守り必要	自身で出来るが、ふらつきがあり、見守り必要	杖歩行であるが、ふらつきがあり、見守り、又は付き添いが必要

## 入浴

浴 槽	物 品	浴槽の出入り	洗髪・洗体	更 衣
<input checked="" type="checkbox"/> 個人浴槽 <input type="checkbox"/> リフト浴槽 <input type="checkbox"/> 機械浴槽	シャワーチェア 中の台 8cm	半介助	洗髪全介助。 洗体背中と足を介助	袖とおし自身で可。上着は一部介助。ズボン、靴下は全介助

## リハビリテーション・活動

リハビリテーション	趣味の講座・レクリエーション
リハビリテーション ウォーターベッド、ホットパック、ニュース ティ プ、プーリー、手作業(ペグ、塗り絵)、紐 結び	お誘いすれば、項目関係よく参加される。



# 取り組み① スケジュール表

## U・C様 赤とんぼスケジュール表

時間	内容
午前8:30~9:00	熱、脈拍、血圧測定を行います。
午前9:00~	洗濯物たたみをしましょう。
午前10:00~	お風呂(月曜、水曜、金曜のみです)
午前10:30~	レクリエーションに参加しましょう。
午前11:00~	お湯沸かし、お茶酌み。古いお茶を捨てる 職員と一緒にいきましょう。 やけどに気をつけましょう。
午前11:30~	昼食 終わったら後片付けもお願いします。
午後1:20~	おやつ準備、コーヒカップの一準備をしましょう。 職員と一緒にいきましょう。
午後2:00~2:30	お帰りで。お帰りの時間は曜日ごと違う ので、時間を確認しましょう。

# 取り組み② お茶入れ

お茶の入れ方	実施月日					
	評価					
①やかんに水を入れる	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
②やかんを火にかける	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
③お湯が沸いたら知らせる	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
④急須にお茶の葉を入れる	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
⑤お湯を急須に入れる	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
⑥お茶を湯のみに注ぎ分ける	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

# 取り組み③ 自身での入浴

お風呂の入り方(個浴)	実施月日					
	評価					
①自身で服を脱ぐ事ができる。	/	/	/	/	/	/
②新しい衣類と交換する。	/	/	/	/	/	/
③自身で洗髪して流せる。	/	/	/	/	/	/
④自身で体(背中を含む)を洗える。	/	/	/	/	/	/
⑤自身で安全に浴槽の出入りができる。	/	/	/	/	/	/
⑥自身で体を拭き、服を着ることができる。	/	/	/	/	/	/
⑦自身で整容(ドライヤー、ブラシ等)ができる。	/	/	/	/	/	/

# 洗濯物たたみ

# おやつ準備



# お茶入れ



お茶の入れ方	実施月日					
	評価					
①やかんに水を入れる	4月18日	4月19日	4月22日	4月24日	4月25日	5月4日
	○	○	○	○	○	○
②やかんを火にかける	4月18日	4月19日	4月22日	4月24日	4月25日	5月4日
	コンロの調子悪く 職員が対応	コンロの調子悪く 職員が対応	コンロの調子悪く 職員が対応	コンロの調子悪く 職員が対応	コンロの調子悪く 職員が対応	○ 教えるとOK
③お湯が沸いたら知らせる	4月18日	4月19日	4月22日	4月24日	4月25日	5月4日
	△ 教えるとOK	×	△ 職員と沸くのを待つ	○ 知らせてくれた	○	○ 蓋を開け確かめた
④急須にお茶の葉を入れる	4月18日	4月19日	4月22日	4月24日	4月25日	5月4日
	○ 自ら言われる	×	○ 計って入れていた	○	○	○
⑤お湯を急須に入れる	4月18日	4月19日	4月22日	4月24日	4月25日	5月4日
	○ カートを押してOK	×	○	○	○	×
⑥お茶を湯のみに注ぎ分ける	4月18日	4月19日	4月22日	4月24日	4月25日	5月4日
	○	○	○	○	○	○

同席の分だけ入れる 同席の分だけ入れる

4月18日	自らやかんを濯がれ、お茶の葉を計って入れられる。水の分量を聞かれる(何人分入れるとな?)
4月19日	本日はあまりやる気なし「今日ぐらいしてよ」と少々立腹気味
4月22日	レクに参加した後だと少々きつい様で11時少し前だとお茶入れをされる。
4月25日	足が痛いので他の人に代わってと訴えられる。丁寧にお願いします。負担がきているのか?
5月4日	「1人じゃしきらん」と言われるので一緒にする事を伝えるとOK

# 変更後のスケジュール表

## U・C様 赤とんぼ日課表

(月曜、水曜、金曜の日課表)

時間	内容
午前8:30~9:00	熱、脈拍、血圧測定をします。
午前9:00~	洗濯物たたみをしましょう。
午前10:00~	お風呂に入りましょう。 出来る限りご自身で行いましょう
午前10:30~	レクリエーションへ参加しましょう。 他の方と一緒に参加しましょう。
午前11:30~	昼食 終わったら後片付けもお願いします。
午後1:20~	おやつ準備、コーヒカップの一準備をしましょう。 職員と一緒に転ばないように行ないましょう。
午後2:00~2:30	お帰りで。お帰りの時間は曜日ごと違う ので、時間を確認しましょう

# 衣類着脱・入浴の様子



ズボン着脱の様子



上着の着脱の様子



洗体の様子



入浴の様子

お風呂の入り方(個浴)	実施月日					
	評価					
①自身で服を脱ぐ事ができる。	5月8日	5月10日	5月12日	5月15日	5月19日	5月22日
	○	○指示なくOK	○声掛け、見守り	○	○	○
②新しい衣類と交換する。	5月8日	5月10日	5月12日	5月15日	5月19日	5月22日
	持参無し	持参無し	持参無し	持参無し	持参無し。 タオルもなし	持参無し
③自身で洗髪して流せる。	5月8日	5月10日	5月12日	5月15日	5月19日	5月22日
	○教えなくてもOK	○洗面器に頭をつけて洗っていた	○立位でされる	間違っ たスタッフが介助	○立つまま洗面器に頭をつけて洗う。	○自身で洗う
④自身で体(背中を含む)を洗える。	5月8日	5月10日	5月12日	5月15日	5月19日	5月22日
	○指示なしでOK	○指示なしでOK	○石鹸付け、タオル伸ばして	○指示なくOK	○指示なくOK	○自身で石鹸つけて洗う
⑤自身で安全に浴槽の出入りができる。	5月8日	5月10日	5月12日	5月15日	5月19日	5月22日
	△教えるとOK	△前回よりは覚えている	○見守り	△出ようとする とき指示必要	△前回よりは覚えている	○見守り
⑥自身で体を拭き、服を着ることができる。	5月8日	5月10日	5月12日	5月15日	5月19日	5月22日
	○裏表の間 違いもない	○表裏の間違 いにも気付か れる	○見守り	○	○	○
⑦自身で整容(ドライヤー、ブラシ等)ができる。	5月8日	5月10日	5月12日	5月15日	5月19日	5月22日
	○髪の後ろ は介助要	○髪の後ろ は介助要	○見守り、ド ライヤー介助	○	○	○
5月10日	清拭は足の裏以外浴室でされていた。					
5月19日	洗髪は、洗面器にお湯を汲み、立ったままつけて洗っていた。シャンプーも自身でつけていた。					
	今日は何曜日か覚えていないようでタオル持参せず。「今日はないと思った」と。					

# 考察・まとめ

- 洗濯物たたみ、おやつ準備などの手作業はご自身で出来ることを見つけれられた為に出来るようになった。
- 入浴は、本人の意欲が出て来られ、住宅改修が出来たこともあり、自宅でも入浴ができるようになった。
- このことからU・C氏のADL・IADLの向上につながる結果を導くことになったと思われる。
- 利用者のIADL維持、向上のために、自発を促す声掛け、介助だけでなく、自発を促す環境作りがいかに重要であるか改めて感じるようになった。
- 今回の結果を踏まえ、今後の利用者のIADL維持、向上が出来るようにつなげていきたい。